国　　語

第１問　次の文章を読み，以下の問いに答えよ。

世間を構成する原理として贈与・互酬がある。その互酬関係(1)について具体的な例をあげれば，借金の返済の問題がある。わが国では，サラ金などから借金をして返せなくなった人が強盗事件を起こすといった種類の犯罪があとを絶たない。「金の無いは首の無いに劣る」などという諺(ことわざ)もあり，借金を返せないでいると世間から排除されてしまうことへの恐怖が，こうした行為の背後にはある。世間という集団の中で無事に生きていくためには，互酬関係をきちんと結んでいく必要があり，贈答儀礼を守ることが世間を生きる人間にとって何よりも大切な義務となっている。このような互酬関係は，逆の場合にも同じような結果を招くこと(2)がある。

たとえば宝くじが当たった場合を考えてみよう。日本人の場合はほぼ例外なく，当たった人の名前は発表されない。本人が希望しないからである。当選者の名前が発表された場合，おそらくその人の親族や世間を構成する人々，あるいは何の関係もない人からさえ金の無心が相次ぐであろう。親族や世間を構成する人々は自分も何らかのおこぼれにあずかる権利があると思っているのである。

［　A　］かつて，一億円を拾って届け，一年後に落とし主が現れなかったためにその一億円を貰えることになった人が，ほっかむりをして隠れるように警察にその金を受け取りに行ったのと同じことが繰り返されるだろう。ところがアメリカなどでは，当選者の顔写真が新聞に大きく出て，皆うれしそうに使い道などについて語っているのである。この違いはどこからくるのであろうか。これも日本人が世間の中で世間の評価を気にしているために起こっている事態なのである。アメリカには，日本のような世間はないのである。

このようにみてくると，世間の中での個人の位置はどのようなものなのかという問いが浮かんでくるであろう。このような問いに対しては，わが国における個人の位置を歴史的に観察するしかないが，私達は明治以来長い間個性的に生きたいと望みながら，十分な形で個性をのばすことができなかった。そのことは，こ

の百年の間ロングセラーとして読み続けられている夏目漱石の『坊っちゃん』(3)を見ればすぐに解ることである。

『坊っちゃん』はイギリスでヨーロッパにおける個人の位置を見てしまった漱石が，わが国における個人の問題を学校という世間の中で描き出そうとした作品である。赤シャツはあるとき坊っちゃんにいう(4)。「あなたは失礼ながら，まだ学校を卒業したてで，教師は始めての，経験である。所(ところ)が学校と云(い)ふものは中々(なかなか)情実のあるもので，さう書生流に淡泊には行かないですからね」。坊っちゃんはそれに対して「今日只今(こんにちただいま)に至る迄是(までこれ)でいゝ，と堅く信じて居(い)る。考へて見ると世間の大部分の人はわるくなる事を奨励して居る様(よう)に思ふ。わるくならなければ社会に成功はしないものと信じて居るらしい。たまに正直な純粋な人を見ると，坊ちゃんだの小僧だのと難癖をつけて軽蔑する。夫(それ)ぢや小学校や中学校で嘘をつくな，正直にしろと倫理の先生が教へない方がいゝ。いつそ思ひ切つて学校で嘘をつく法とか，人を信じない術とか，人を乗せる策を教授する方が，世の為にも当人の為にもなるだらう」と考えている。

『坊っちゃん』は学校という世間を対象化しようとした作品であり，読者は坊っちゃんに肩入れしながら読んでいるが，その実皆自分が赤シャツの仲間であることを薄々感じとっているのである。しかし世間に対する無力感のために，せめて作品の中で坊っちゃんが活躍するのを見て快哉(かいさい)を叫んでいるにすぎないのである。

この百年の間わが国においても社会科学が発展してきたが，驚いたことにこのように重要な世間という言葉を分析した人はほとんどいない。私達は学校教育の中で西欧の社会という言葉を学び，その言葉で文章を綴(つづ)り，学問を論じてきた。しかし文章の中では扱わないことを会話と行動においては常に意識してきたのであって，わが国の学問が日常会話の言葉を無視した結果がここにある。

いわば世間は，学者の言葉を使えば「非言語系の知」の集積(5)であって，これまで世間について論じた人がいないのは，「非言語系の知」を顕在化する必要がなかったからである。しかし今私達は，この「非言語系の知」を顕在化し，対象化しなければならない段階にきている。そこから世間のもつ負の側面と，正の側面の両方が見えてくるはずである。世間という「非言語系の知」を顕在化すること

によって新しい社会関係を生み出す可能性もある。

明治十年（1877）頃に society の訳語として社会という言葉がつくられた。そして同十七年頃に individual の訳語として個人という言葉が定着した。それ以前にはわが国には社会という言葉も個人という言葉もなかったのである。ということは，わが国にはそれ以前には，現在のような意味の社会という概念も個人という概念もなかったことを意味している。では現在の社会に当たる言葉がなかったのかと問えばそうではない。世の中，世，世間という言葉があり，時代によって意味は異なるが，時には現在の社会に近い意味で用いられることもあったのである。

明治以降社会という言葉が通用するようになってから，私達は本来欧米でつくられたこの言葉を使ってわが国の現象を説明するようになり，そのためにその概念が本来もっていた意味とわが国の実状との間の乖離（かいり）が無視される傾向が出てきたのである。

欧米の社会という言葉は本来個人がつくる社会を意味しており，個人が前提であった。しかしわが国では個人という概念は訳語としてできたものの，その内容は欧米の個人とは似ても似つかないものであった。欧米の意味での個人が生まれていないのに社会という言葉が通用するようになってから，少なくとも文章のうえではあたかも欧米流の社会があるかのような幻想が生まれたのである。特に大学や新聞などのマスコミにおいて社会という言葉が一般的に用いられるようになり，わが国における社会の未成熟あるいは特異なあり方が覆い隠されるという事態になったのである。しかし，学者や新聞人を別にすれば，一般の人々はそれほど鈍感ではなかった。[(6)] 人々は社会という言葉をあまり使わず，日常会話の世界では相変わらず世間という言葉を使い続けたのである。

この点については特に知識人に責任がある。[(7)] 知識人の多くはわが国の現状分析をする中で常に欧米と比較し，欧米諸国に比べてわが国が遅れていると論じてきた。遅れているという判断の背後には，遅れを取り戻せるという見通しがなければならない。多くの知識人はそのような見通しもないままに遅れについて論じてきたのである。

たとえばカントの「啓蒙とは何か」という書物の中で，上官の命令が間違って

いた場合に部下のとるべき態度が論じられている。上官の命令が間違っていると考えた場合でも，部下はその命令に従わなければならない。さもなければ軍隊は成立しないからである。 B 軍務が終了したとき，その部下は上官の命令の誤りを公開の場で論じることができるとカントはいう。そしてその場合彼は自分の理性を公的に使用しているのだというのである。日本の事情を考えてみよう。ある会社員が会社の経理やその他に不正を発見して，それを公的な場で指弾した場合，彼は間違いなく首になるであろう。そしてもしそのことが公的に論じられるようなことが起こった場合，彼の行動が公的な理性に基づくものだという者が日本にいるだろうか。

このカントの言葉を引用して日本の社会の遅れを説く論者は今でもあとを絶たない。しかし問題はここからはじまるのであって，こういう状態だからわが国は遅れているといってみたところで何もいっていないに等しいのである。このように考えてくると，問題の一つは，わが国においては個人はどこまで自分の行動の責任をとる必要があるのかという問題であることが明らかになろう。それはいいかえれば世間の中で個人はどのような位置をもっているのかという問いでもある。以下においては世間や世の中という言葉がどのように用いられてきたのかを考察し，その中での個人の生き方についても考えてみたい。私達は西欧の歴史からよりも，自分達の過去から学ぶべきことが多いからである。

日本の個人は，世間向きの顔や発言と自分の内面の想いを区別してふるまい，そのような関係の中で個人の外面と内面の双方が形成されているのである。いわば個人は，世間との関係の中で生まれているのである。世間は人間関係の世界である限りでかなり曖昧(あいまい)なものであり，その曖昧なものとの関係の中で自己を形成せざるをえない日本の個人は，欧米人からみると，曖昧な存在としてみえるのである。ここに絶対的な神との関係の中で自己を形成することからはじまったヨーロッパの個人との違いがある。

（阿部謹也『「世間」とは何か』講談社，1995年。ただし，出題のために一部変更した。）

問１　下線部(1)はどのようなことを意味するか。最も適切なものを以下から一つ選べ。 1

① 利益を得たり，負債を負ったりしたにもかかわらず，それを返さない者は，相応の報いを受ける関係。

② 世間という集団において，互いに他者の目を気にして自己の振る舞いを決定していく関係。

③ 借金をしたにもかかわらず，それを返さない者は，世間から排除されてもやむなしとする関係。

④ 世間という集団において，年の節目などに，下位の者が上位の者に対し贈答し続ける関係。

⑤ 相手から利益を得たり，負債を負ったりした場合は，相手に対しそれを返す関係。

問２　下線部(2)はどのようなことを意味するか。最も適切なものを以下から一つ選べ。 2

① 贈答儀礼を尽くした後も，世間の人々からさらに利益の分配を求められること。

② 利益を受けたことを公表していないのに，世間の人々から利益の分配を求められること。

③ 自分が何も負債を負っていない場合には，世間の人々への利益の分配が義務づけられること。

④ 自分が何らかの利益を得た場合，世間の人々から利益の分配が求められること。

⑤ 自分の親族等から利益を受けた場合でも，何の関係もない人から利益の分配を求められること。

問３　空欄（A）・（B）に入る語として最も適切なものを，以下から一つずつ選べ。ただし，それぞれの空欄には異なるものが入る。

A [3]，B [4]

① しかも　② しかし　③ したがって

④ たしかに　⑤ それどころか

問４　下線部(3)に関連して，夏目漱石の小説『坊っちゃん』の冒頭の文として正しいものを，以下から一つ選べ。[5]

① 「吾輩は猫である。名前はまだない。」

② 「私はその人を常に先生と呼んでいた。」

③ 「親譲りの無鉄砲で子供の時から損ばかりしている。」

④ 「山路を登りながら，こう考えた。智（ち）に働けば角が立つ。情に棹（さお）させば流される。」

⑤ 「うとうととして目がさめると女はいつのまにか，隣のじいさんと話を始めている。」

問５　下線部(4)以降の「赤シャツ」と「坊っちゃん」の会話から，両者の考え方の違いを説明する文章として最も適切なものを，以下から一つ選べ。 6

① 赤シャツは，学校では，世間知らずの，理想を追求するだけの教育ではうまくいかないと考えているが，坊っちゃんは，学校は世間とは一線を画し，理想に沿った教育をすべきだと考えている。

② 赤シャツは，学校は生徒に世間での身の処し方を学ばせる場だと考えているが，坊っちゃんは，学校ではいっそ教師が人を乗せる策などを教授する方が生徒のためになると考えている。

③ 赤シャツは，学校は良くも悪くも世間の縮図だと考えているが，坊っちゃんは，学校は生徒が悪くなることを奨励する等，世間の悪いところを凝縮したような場だと考えている。

④ 赤シャツは，悪くならなければ社会での成功はないと考えているが，坊っちゃんは，正直で純粋な人こそが社会で成功すると考えている。

⑤ 赤シャツは，社会経験がなければ教師は務まらないと考えているが，坊っちゃんは，学校を卒業したてで，社会経験のない者の方が教師として成功すると考えている。

問６　下線部(5)の本文中の意味として最も適切なものを，以下から一つ選べ。 7

① その内容を言語化してはならないことを人々が了解している知の集積。

② 言語化によってはその本質を正確には捉えられない知の集積。

③ 人々が自然と体得しており，言語化を要しない知の集積。

④ 世界のどの言語体系によっても理解不可能な知の集積。

⑤ 言語によってではなく，身体的に表現されるのに適した知の集積。

問７　下線部(6)について，「一般の人々」は何について「それほど鈍感ではなかった」のか。最も適切なものを以下から一つ選べ。 8

① 「社会」という言葉が日本社会の未成熟さを明らかにするものであること。

② 「社会」という言葉がやがて広く用いられていくであろうこと。

③ 「社会」という言葉を学者や新聞人が日本に特有の意味で使っていること。

④ 「社会」という言葉で日本社会の様々な現象を説明できること。

⑤ 「社会」という言葉が日本社会の実状を適切に反映するものではないこと。

問８　下線部(7)に関連して，筆者は，知識人は今後どのような責任を果たすべきだと考えているか。最も適切なものを以下から一つ選べ。 9

① 西欧流の「社会」及び「個人」の概念を軸として，日本における「世間」の特異性を明らかにし，その「正の側面」を伸ばしていく責任。

② 西欧流の「社会」及び「個人」の概念を用いて，日本社会の遅れを正確に指摘するとともに，遅れを挽回するための方策を提示する責任。

③ 日本に固有の「世間」の構造や，世間と個人の関係を解明することを通して，日本社会の現状を正確に分析し，その課題を明らかにする責任。

④ 日本に固有の「世間」の構造や，世間と個人の関係を解明することを通して，日本社会の遅れを正確に指摘するとともに，遅れを挽回するための方策を提示する責任。

⑤ 日本に固有の「世間」の構造や，世間と個人の関係を解明することを通して，日本に西欧流の「個人」及び「社会」が生成してくるのを促す責任。

問９　本文の内容としてより適切なものを，以下から二つ選べ。

10 ， 11 （順不同）

① 西欧においては，絶対的な神との関係において成立する個人が前提となって社会が形成されるのに対し，日本においては，世間との関係の中で個人が成立する。

② 明治10年頃以前には，日本に「社会」という言葉は存在しなかったが，「世の中」や「世間」という言葉がこれと同じ意味で広く用いられていた。

③ 個人が，世間との関係において自己の外面と内面をともに形成する日本においては，世間によって個人の責任が曖昧にされる傾向が見られる。

④ 日本社会の特異性を表す概念として「世間」があるが，「世間」のあり方には負の側面だけでなく，正の側面もあると考えられる。

⑤ 明治以降，「社会」という言葉が通用するようになり，日本において，この言葉の本来の意味と日本社会の実状との乖離が広く意識されることとなった。

⑥ 明治以降，「社会」や「個人」という言葉が通用するようになってから，日本においてもしだいに，西欧流の市民社会が生成してきた。

第２問　次の文章を読み，以下の問いに答えよ。

何年も前の秋のある日，「私」は，カメラを持って鎌倉市の稲村ヶ崎海岸に出かけました。江ノ島電鉄の稲村ヶ崎駅で電車を降り，歩いて海岸へ向かい，海岸を通る国道134号線に出て右の方を眺めると，遠くの方に江ノ島を望むことができます。また，晴れた日なら，江ノ島のさらに向こうに富士山が見えるはずです。

ところが，運悪く，「私」が稲村ヶ崎海岸に行ったときは，晴天ではありませんでした。東京の自宅を出たときには快晴だったのに，横須賀線で鎌倉に向かっているうちに，空が雲に次第に覆われて行き，稲村ヶ崎海岸に辿りついたころには，小雨が降り，暗い空を背景に江ノ島の輪郭がボンヤリと見えるばかりで，富士山などまったく見えません。「江ノ島の向こうに富士山が見えると思ったから，一眼レフカメラと望遠レンズと三脚を担いでここまで時間をかけてやって来たのに，肝心の富士山が見えないじゃないか」と，「私」は，稲村ヶ崎に来るまでに費やされた時間と体力と電車賃を心の中で計算しながら，［　A　］を恨み続けました……。

この場合，「絶景」に相当するのは，晴れていたら見えるはずの眺め，つまり，江ノ島と富士山が遠くに両方とも見える眺めです。しかし，この眺めは，本質的には単なる映像にすぎず，本当の意味における風景ではありません。

これが「絶景」，つまり偽りの風景であることをもっとも明瞭に示すのは，「あいにくの」天候によって見えなくなる可能性があるという事実です。この書物が「絶景」と呼ぶものを本当の意味における風景から区別する標識は，さしあたり，天候を始めとする「あいにくの」事情によって掻(か)き消されてしまうかどうかという点に求めることができます。

絶景の本質は単なる映像であり，したがって，意のままにならない事情をノイズと見なし，これを嫌います。これに反し，本当の意味における風景は，意のままにならない他者 —— この場合は天候 —— を含む全体であり，悪天候をみずからのうちに含むものなのです。「私」が鎌倉へ行ったのは，［　B　］を見るためであり，［　C　］を眺めるためではないことになります。

絶景の美学とは，「風景とは絶景である」ことを主張する風景観です。言い換

えるなら，これは，風景の価値を「ピクチャレスク*1」であることに求める風景観です。「ピクチャレスク」は，絶景の美学のもっとも重要なキーワードであり，「ピクチャレスクとは何か」という問いに与えられてきた答えを確認することにより，絶景の美学の実質が明らかになります。

絶景の美学には，二種類の独特の了解が含まれています。すなわち，絶景の美学のもとでは，①風景は，すべてが自然物からなるものであるとしても，「作品」つまり人工物に見立てられます。また，②絶景の美学は，風景を眺める意義を，新しいもの，成長しつつあるものに対する抵抗と異議申し立てに求めます。現代の風景論を，そして，和風テーマパーク*2の際限のない複製の運動を，これら二つの了解の帰結として把握することは，決して困難ではないように思われます。(I)

これから詳しく述べるように，絶景の美学は，誰にとってもなじみのある見方，しかし，残念ながら，根本的に転倒した見解です。風景について何かを考えるときには，よほど警戒しないと，［　D　］。

実際，少なくとも近代以降，風景に対するまなざしは，絶景の美学によって隅々まで支配されてきました。現代の風景論が本質において画一的であり貧弱であるのは，絶景の美学があまりにも広い範囲において受け容れられ，そのせいで，「風景とは何か」という問いについて，これが解決済みのものであり，その答えが自明であるかのように誤って受け取られてきたからに他なりません。

「哲学的」であることを標榜（ひょう）する風景論についても，事情は同じです。風景の意味を哲学的な観点から明らかにする試みの多くは，風景の享受を本質的に情感的（ästhetisch）（＝美的）なものと見なす点において一致しており，このかぎりにおいて，「絶景の美学」の引力に囚われていると言うことができます。

しかし，現実には，風景の意味は自明ではないばかりではなく，風景論は，「風景とは何か」を問う段階にすら辿りついていないと私は考えます。(II) 当然，風景の意味への問いが問われないかぎり，風景の意味が明らかになることはなく，風景を経験し享受する可能性もまた閉ざされたままにとどまります。［　ア　］，生活に豊かさを取り戻すことなど，ありうべからざることであるに違いありません。

さらに，風景が差し出すはずの富を受け取るには，風景の意味を問い，風景の

意味を知るだけでは十分ではありません。風景がどのように誤解され，風景の真相が隠されてきたのかを知ること，つまり，風景論の歴史を解体することもまた，避けて通ることの許されぬ大切な作業であるように思われるのです。

私は，日本橋を覆う首都高速道路の高架橋を撤去することが［　E　］であると考えています。高架橋と一体となった日本橋は，時間の経過とともに，周囲との相互作用により少しずつ見慣れたものとなり，日本人の生活様式に溶け込みながら，これと同時に，構造物の方もまた，日本人の生活様式を規定しつつあるからです。

［　イ　］，たとえば防災上の必要があるなら，高架橋を取り除く試みは積極的に評価されるべきでしょう。この措置には，道路を拡張したり，電線を地中化したり，住宅に耐震補強を施したりするのと同じ意義があるはずです。

しかし，［　F　］が問題であるかぎり，高架橋を撤去すべきであるという要求は斥(しりぞ)けられねばなりません。高架橋の撤去は，構造物としての日本橋を中心とする周辺一帯のテーマパーク化を意味するものであり，地域としての日本橋が現在の東京において担う役割から乖離(かいり)した空間，観光専用の空間を都心に作り出すことにしかならないからです。

テーマパーク化は，私たちの生活のための空間にとり，深刻な脅威であり続けています。というのも，風景については，次のような了解が広く受け容れられてきたからです。すなわち，風景を何らかの意味における作品と見なすこと，つまり，風景を「景観」として設計し，生産し，修復し，操作し，維持することは，ただ可能であるばかりではなく，必要ですらあると考えられてきたのです。さらに，これが風景に対する正しい態度と認められてきたのです。和風テーマパークの際限のない複製は，風景を「閉じた庭」(hortus conclusus) に見立てるこの転倒した風景観の必然的な帰結にすぎません。

風景との関係を正常化し，風景を本当の意味において経験することが可能となるためには，何よりもまず，(Ⅲ) 風景に関するこの誤解の正体を確認し，この誤解を罠(わな)と見なし，これを慎重に避けることが必要となるでしょう。

注：＊1　ピクチャレスク・・・18世紀のイギリスで生まれた美的概念で，17世

紀のイタリア絵画を規範とし「絵のような美しさ」を追求する。

＊2　和風テーマパーク・・・和風にデザインされた建造物や街並みが特定の場所にまとまって形成されている様を指す筆者特有の表現。

（清水真木『新・風景論　哲学的考察』筑摩書房，2017年。ただし，出題のために一部変更した。）

問1　空欄（A）にあてはまる最も適切な語を，以下から一つ選べ。 12

① 自身の無計画さ　② 自身の不甲斐なさ　③ 天気予報
④ 天気　⑤ 重い荷物

問2　空欄（B）・（C）にあてはまる語の組み合わせとして最も適切なものを，以下から一つ選べ。 13

① （B）富士山　（C）風景　② （B）風景　（C）富士山
③ （B）映像　（C）風景　④ （B）風景　（C）映像
⑤ （B）映像　（C）富士山　⑥ （B）富士山　（C）映像

問3　下線部(I)の意味として最も適切なものを，以下から一つ選べ。 14

① 一定の理解の下に，その結果生じた現象としてよく理解する。
② 前提となる考え方をしっかり理解し，一定の結論を導き出す。
③ 一定の条件に合致するものとして了承し，その結果をよく理解する。
④ 互いの違いを正しく認識し，その結果をよく理解する。
⑤ 異なる理解を結びつけるものとして，しっかり認識する。
⑥ 異なる理解を結びつけて，その全体像を正しく理解する。

問４　空欄（D）にあてはまる最も適切な文章を，以下から一つ選べ。 15

① 絶景の美学の影響を免れられません

② 絶景の美学の実質を知ることはできません

③ 絶景の美学の存在を忘れてしまいます

④ 絶景の美学を批判することはできません

⑤ 絶景の美学をすんなりと受け容れられません

問５　下線部(II)の意味として最も適切なものを，以下から一つ選べ。 16

① 風景という言葉の使い方が明確になっていない。

② 風景の概念それ自体が明確に定義されていない。

③ 風景と絶景の違いが明確に把握できていない。

④ 風景という言葉の使い方が自分自身でよく分かっていない。

⑤ 風景の概念について自分自身で上手く説明できない。

⑥ 風景と絶景の違いを自分自身で上手く説明できない。

問６　空欄（ア）・（イ）に入る語として最も適切なものを，以下から一つずつ選べ。ただし，それぞれの空欄には異なるものが入る。

ア 17 ，イ 18

① そこで　② しかし　③ なぜなら　④ けれども

⑤ もちろん　⑥ あるいは　⑦ まして　⑧ ところが

問７　空欄（E）にあてはまる最も適切な語を，以下から一つ選べ。 19

① 不十分　② 不適格　③ 不可欠　④ 不可避

⑤ 不相応　⑥ 不適当

問８　空欄（F）にあてはまる最も適切な語を，以下から一つ選べ。 20

① 絶景の美学　② 都市の発展　③ 環境　④ 防災

⑤ 風景　⑥ 生活様式

問９　下線部(Ⅲ)の意味として最も適切なものを，以下から一つ選べ。 21

① 日常的なありふれた風景と非日常的な絶景を区別して注意深く眺めること。

② これまで見過ごしていた美しい風景を再発見すること。

③ 絶景の非日常性を認識しながら慎重に写真撮影を行うこと。

④ 目の前に広がる風景をただぼんやりと眺めること。

⑤ ノイズと見なされる要素を排除せず，目の前の風景を注意深く眺めること。

問10　本文の内容としてより適切なものを，以下から二つ選べ。

22 ， 23 （順不同）

① 絶景の美学は誰もが理解している普遍的なものの見方だ。

② 絶景とは偽りの風景であり，その本質は映像である。

③ 風景は意のままにならない他者をも内包する。

④ 美しい風景を保全するために時には人の手を加えることも必要だ。

⑤ 風景を作品と見なすことで，従来の転倒した風景観を修正することができる。

⑥ 現代の風景論は多義的であるため本質を見極めるのが難しい。

⑦ 風景の意味を問いさえすれば生活に豊かさを取り戻すことができる。

⑧ 高架橋と一体となった日本橋の風景は近未来的な新たな絶景をつくり出している。

第３問　各問いの二重下線部のカタカナと同じ漢字を使うものを，以下から一つ選べ。

問１　熱中症の<u>テン</u>ケイテキな症状が出ている。 24

① 印象派の<u>テン</u>ランカイに行く。

② 隣の町に<u>テン</u>キョする。

③ この作品は惜しくもジ<u>テン</u>となった。

④ 厳かな<u>テン</u>レイに参加する。

⑤ 新しい商品が<u>テン</u>トウに並ぶ。

問２　口頭のみで伝えられる文学をコウ<u>ショウ</u>文学という。 25

① 論より<u>ショウ</u>コ。

② 上司から<u>ショウ</u>ダクを得る。

③ 労働組合が会社とコウ<u>ショウ</u>する。

④ オリンピックを東京に<u>ショウ</u>チする。

⑤ ずいぶんとシュ<u>ショウ</u>な心がけだね。

問３　重い<u>シッ</u>ペイを患う。 26

① <u>シツ</u>イの底に沈む。

② リョウ<u>シツ</u>な木材を使う。

③ 突然の<u>シッ</u>プウで飛ばされそうになる。

④ 日本のほとんどは<u>シツ</u>ジュンな気候である。

⑤ 担当医が手術を<u>シッ</u>トウする。

問４　会社のギョウセキが上向く。 27

① 森に落ち葉がタイセキする。

② 会合のセキジに気を配る。

③ 行方不明者がキセキテキに生還した。

④ 大阪ではボウセキギョウが発展した。

⑤ 会社のトップがインセキジニンした。

問５　シンギにもとる行動をしてはならない。 28

① 辞書でタイギゴを調べる。

② 政治家がキョギの答弁をする。

③ 知人のソウギに参列する。

④ 昆虫が巧妙にギタイする。

⑤ 日本画のギホウを学ぶ。

問６　ハイドンは「コウキョウキョクの父」と呼ばれる。 29

① 江戸に町人文化がコウリュウする。

② 成功するコウサンが大きい。

③ 旅先でガイドブックをケイコウする。

④ コウショウな趣味を持つ。

⑤ 様々な思いがコウサクする。

問７　この春めでたく大学院をシュウリョウした。 30

① 猫には爪を研ぐシュウセイがある。

② 曖昧な返答にシュウシする。

③ 河川をカイシュウする。

④ 一点に勢力をギョウシュウさせる。

⑤ 北欧諸国をシュウユウする。

問８　イミシンチョウなことを言う。 31

① 結婚式の受付でキチョウする。

② 様々な文明がショウチョウを繰り返す。

③ ピアノをチョウリツする。

④ 申し出をテイチョウに断る。

⑤ 景気回復のチョウコウが見える。

問９　フェイントで相手のイヒョウを突く。 32

① 映画をヒヒョウする。

② 候補者にトウヒョウする。

③ 昆虫のヒョウホンを作る。

④ 国王をヒョウケイホウモンする。

⑤ 相手と同じドヒョウに立つ。

問10　彼はシンジョウを曲げない人だ。 33

① 要点をカジョウ書きにする。

② 下町のジョウチョにあふれている。

③ 株式をジョウジョウする。

④ ジョウキを逸した行動をする。

⑤ その頑張りなら，合格はヒツジョウだ。